

奈良公園の哺乳動物相

2009年2月 作成

『奈良公園の自然』(奈良教育大学 1994年3月)より  
奈良県RDBカテゴリーは、奈良県版レッドデータブック(2006年3月発行)による

	種名(和名)	確認場所	年月日	備考	奈良県RDBカテゴリー	
モグラ目	トガリネズミ科 モグラ科	ジネズミ		生息が予想されるが未確認		
		ヒミス	春日奥山遊歩道	1993/4/18	轢死体	
		コウベモグラ	正倉院の講堂跡 東大寺の東塔跡 手向山神社周辺 若草山山麓商店街の西側	1994/1月下旬~2月下旬 1994/2月末~3月初旬 1994/2月末~3月初旬 1994/2月末~3月初旬	モグラの坑道 モグラの坑道 モグラの坑道 モグラの坑道	
翼手目(コウモリ目)	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ		公園内では未確認、南側の奈良教育大学構内で何回も観察		
	キクガシラコウモリ科	テングコウモリ	御蓋山(蝙蝠窟)	1953/6/	1雄を採集	絶滅危惧種
		キクガシラコウモリ	春日山 花山 若草山	1957年頃 1957年頃 1957年頃	採集 採集 採集	希少種
		コキクガシラコウモリ	春日山 若草山	1957年頃 1957年頃	採集 採集	希少種
			テングコウモリ・キクガシラコウモリ・コキクガシラコウモリについて、上記以後、公園内からの観察・採集記録は全く報告されていないし、最近も生息は知られていない。			
サル目	オナガザル科	ニホンザル		1955年頃まで公園内で見かけたが、以後見かけることがない		
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	公園南側の奈良教育大学構内	1993/1/14 で確認 生息が予想されるが未確認		
ネズミ目	リス科	ホンドリス	ささやきの小径の一本東の道 妙見宮付近	1992/5/27 1994/2/28、3/2	目撃 目撃	
		ムササビ			公園内に生息することが想像されるが、生息個体数は多くないようである 樹洞があるような大木の存在するところに広く分布している ものと思われる	
	ネズミ科	ズミスズミ	春日奥山のヒノキの造林地	1993/12/18	1頭捕獲	
		アカネズミ	春日奥山のヒノキの造林地 春日奥山遊歩道の上の方 柳生街道の下部		確認時期は不明 確認時期は不明 確認時期は不明	公園内におけるネズミの調査 があまり進んで いないので、分 布の全容は不 明
		ヒメネズミ イエネズミ類	柳生街道の下部	1994/2/		
ネコ目	イヌ科	タヌキ	奈良ホテル前 奈良地方裁判所の前 春日大社参道口バス停付近	1991/10/22 1993/10/14 1994/1/31	轢死体 轢死体 轢死体	
		キツネ	春日奥山遊歩道の南部交番所 付近	1992/12/30	2頭目撃	
	イタチ科	テン	春日奥山遊歩道の上の方 春日大社参道口バス停付近 春日大社参道口バス停付近	1994/2/13 1991/6/25 1992/5/27	雪上に足跡 1個のフン 3個のフン	
		チョウセンイタチ	妙見宮付近	1993/7/18	目撃	
			妙見宮付近 飛火野の南西近くのバス道路	1992/7/30 1993/11/20	目撃 轢死体	
		アナグマ			1935年頃に春日山に於いて狩猟せられたとの記録があり、生息が予想されるが、確実な生息記録は最近全く知られていない	
	ウシ目	イノシシ科	イノシシ	地獄谷新池付近 地獄谷新池付近 ささやきの小径	1992/4/14 1992/4/29 1993/9/2	足跡 目撃 目撃
シカ科		シカ			奈良公園のシカはホンシュウジカである。古来、春日大社の神鹿として愛護されてきた。現在、約1200頭。奈良公園平坦部から春日山・高円山にかけて生息する。1957年に国の天然記念物に指定された。角があるのはオスの成獣だけで、メスには見られない。	郷土種